

# Sporting Regulation 2024



## 2024年度 マツダファン・サーキットトライアル 競技規定①

### 1. 大会

マツダファン・サーキットトライアル (MFCT) は、国際自動車連盟 (FIA) の国際モータースポーツ競技規則に準拠した JAF 国内競技規則およびその細則、本サーキットトライアル競技規定、各大会特別規則書、ならびに各サーキット規定に従って開催される。全ての参加者は、これらの諸規定に精通し、これを守るとともに各大会オーガナイザーおよび競技役員への指示に従う義務を負うものとする。

### 2. 組織

- 本競技は、ピーススポーツ・MFCT事務局 (以下 B-Sports) の主管により運営される。各大会オーガナイザーは一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) 公認のもと、マツダファン・サーキットトライアルの名称を付したサーキットトライアル競技を組織、開催する。大会組織委員会、競技審査委員会、競技役員は、各大会の特別規則書にて公示される。
- B-Sports は、シリーズとしての統一性維持および各オーガナイザーの競技役員に協力する目的で「レースディレクター」を各大会に派遣する場合がある。その際、レースディレクターは大会競技長と協議をしながら役務を遂行する。レースディレクターの役務 (義務) は、大会期間中 (参加受付から正式結果発表まで) に発生した違反行為の判定に関して、シリーズを通した独自の判断に基づく提言を競技長に行い、大会における競技運営および判定基準の平準化を図るものとする。ただしレースディレクターは、レース運営や判定に関する最終的な判断を下す権限を競技長に委譲する。

### 3. 開催日、開催場所、競技時間

Rd.	開催日	定員	開催場所	競技時間
第1戦 宮城ラウンド	4月6日(土)	75台	スポーツランドSUGO	
第2戦 茨城ラウンド	5月26日(日)	75台	筑波サーキット	
第3戦 栃木ラウンド	6月16日(日)	75台	モビリティリゾートもてぎ	2ヒート制 1本目: 15分 2本目: 20分
第4戦 北海道ラウンド	8月11日(日)	60台	十勝スピードウェイ	
第5戦 岡山ラウンド	11月9日(土)	75台	岡山国際サーキット	
第6戦 大分ラウンド	12月8日(日)	75台	オートポリス	

※開催日、内容は諸事情により変更する場合がある。

※9月21日(土)に開催予定の特別戦の詳細については別途公示する。

※各大会のタイムスケジュールは公式通知にて提示。

### 4. 参加クラス・車両

1) 本競技会は、車種と改造範囲に応じて21のクラス区分に競技を開催する。

車種	改造範囲	
	NORMAL	TUNED
MAZDA2 & デミオ	①	②
MAZDA3 & アクセラ ※ガソリン過給器設定車を除く	③	④
ロードスター ND	⑤	⑥
ロードスター NC	⑦	⑧
ロードスター NA & NB ※過給器設定車を除く	⑨	⑩
RX-8	⑪	⑫
SUV (CX系・MX系車両)	⑬	⑭
オープン・ロータリー (上記以外のロータリーエンジン車)	⑮	⑯
オープン・ターボ (上記以外の過給器設定車)	⑰	⑱
オープン (上記以外の全てのモデル)	⑲	⑳
クロズド (ライセンス不要/賞典外)	㉑ (改造範囲区分無し)	

※JAF 国内競技運転者許可証を所持していない者、もしくは JAF 国内競技運転者許可証を所持している者は、車種を問わず「クロズド」クラスに区分される。

※「マツダスピードアクセラ」、「マツダスピードアテンザ」、「ロードスターターボ」は車種「オープン・ターボ」クラスに区分される。

※「RX-8 マツダスピードバージョン」は車種「RX-8」の改造範囲 NORMAL クラスに区分される。「RX-8 マツダスピードバージョン」は車種「RX-8」、「ロードスターターボ」は車種「ロードスター・クラシック」、「マツダスピードアテンザ」は車種「アテンザ・クラシック」の改造範囲 TUNED クラスに区分される。

※ロータリーエンジンのポート方式を変更した RX-8 は、車種「オープン・ロータリー」の改造範囲 TUNED クラスに区分される。

※特定の車種別クラスに属するマツダ車は必ず当該車種クラスで参加しなければならない。ただし、車両規定 4. 参加車両 16) および 17) に該当する場合を除く。

※クラス区分は参加台数に応じて追加、変更、取消する場合がある。

※クラス区分毎の参加台数が 30 台未満の場合は、当該競技の挙行を中止もしくは、サーキットの同時出走可能台数の総数を超えない範囲で混定になる場合がある。

※クラス区分毎の参加台数がサーキットの同時出走可能台数の総数を超えた場合には、走行時間帯を分けて実施する。

- 参加車両は、別掲の車両規定に合致した車両でなければならない。

### 5. 参加資格

- NORMAL・TUNED クラス  
ドライバーは有効な JAF 競技運転者許可証国内 B または国内 A の所持者であること (国際以上の競技運転者許可証の所持者は参加不可)。
- クロズドクラス  
ドライバーは有効な 4 輪運転免許所持者で主催クラブの会員及び当日のみ有効の準会員 (準会員の登録は参加申込と同時にされる) とする。また、本競技への体験参加を目的とし、結果に応じた賞典が授与されないことを承知していること。
- ドライバーならびにピットクルーは、競技中に有効な保険に加入することを強く推奨する。
- ドライバーならびにピットクルーが18歳未満の場合は、親権者の承諾を必要とする。ピットクルーは16歳以上とする。
- 同日開催日に他の競技に重複して参加しないことを強く推奨する。また、重複して参加する場合には、いかなる理由があろうとも本競技会とそのスケジュールを最優先に参加することが義務づけられる。
- 上記の条件を満たした場合でも、B-Sports もしくは各オーガナイザーが MFCT の参加者に相応しくないと判断した場合、その理由を示すことなく参加申込の拒否を行う。

### 6. ドライバーおよびチームの遵守事項

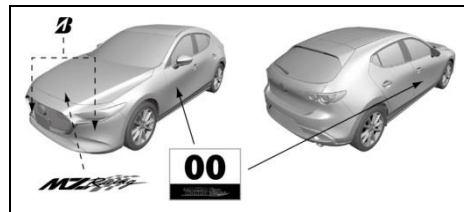
- 本競技会は、走る喜びを謳うマツダ車の多くのユーザーに、自身のドライビングと愛車のポテンシャルの限界をサーキットで体感してもらうことを開催の趣旨としていることを十分に理解し、他の参加者や競技役員を含む全ての関係者への思いやりを持ち、スポーツマンシップに則り、楽しく安全に走ることを第一に心掛けること。
- ドライバー、チームマネージャー (ゲストを含む) の行動に関して、チームが連帯して責任を負わなければならない。基本的にドライバーとして登録された者をチームの責任者とする。チームの責任者が異なる場合には、当初の責任者より異なる者を指名した旨の委任状を B-Sports にあらかじめ提出しなければならない。
- 車両検査の立ち合いや、競技中にピット作業エリアやサインガードに立ち入ることができるのは、参加申込時に登録されたチームクルーに限られる。
- 後続車の走行ラインを意図的に塞いだり、コーナーの極端に手前からインペタ走行を続けたり、併走する相手の走行ラインを残さなかったり、幅寄せなどで他の参加者を威嚇する走行をしないこと。

- 意図的に後続車両に進路を譲る際は、自車の走行ラインをウィンカーで示すことを推奨する。その際は、自車が維持したい進行側のウィンカーランプを点灯させること。また、他車に自車の存在を知らせるためのライトオン走行 (ハイビームも含む) は認められる。ライトのバッシングは、前車のベースが明らかにならぬ、幻惑行為にならない使用頻度と車間の場合にのみ認められる。

- 万一、他の車両と接触した場合には、正式競技結果が発表される前に、接触した相手ドライバーと話し合い、互いに遺憾を残さぬよう努力しなければならない。競技中の接触は互いの自己責任とし、その補償を他に求めてはならない。

### 7. 競技ゼッケン、指定ステッカー、ドライバー、ピットクルーの装備品

- 競技番号は B-Sports が決定し、競技ゼッケンは競技会当日に支給する。競技ゼッケンは公式車両検査まで左右前部ドア (窓への貼付不可) に確実に貼付すること。支給された以外の競技用ゼッケンを貼付している場合、取り外すか、番号が分からないようテープなどで覆うなどの対処をすること。
- 参加者は、B-Sports およびオーガナイザーの要請がある場合には広告スペースを提供しなければならない。シリーズスポンサーおよびイベントスポンサーと競合する個人スポンサーロゴの露出は認められない。参加者は、参加者自身による特定の広告が拒否されるかもしれないことをあらかじめ承知しなければならない。窓などの視界を妨げる位置や、外部から容易に視認できない位置、逆さなどの不適切な方向に貼付してはならない。これに違反した場合にはペナルティが科され、正式結果発表後に判明した場合でも、遡及して当該大会のシリーズポイントが無効とする。
- 競技会当日に支給される競技用ゼッケン (前部左右ドア) および指定ステッカーは、公式車検開始前までに以下の図の位置を参考に貼付すること。



※プリズトン「B マーク」のステッカーは、プリズトンタイヤ装着車にのみ配布され、配布された参加者は指定された位置に貼付が義務付けられる。  
※ゼッケンやステッカーのデザイン、貼付位置は、諸般の事情により変更する場合がある。

### 4) ドライバーの装備品

- JAF 国内競技車両規則第 4 編付則「レース競技に参加するドライバーの装備品に関する付則」に従った装備品を整えることを強く推奨する。また、頭部および頭部の保護装置「FHR システム (HANS)」の使用も推奨する。
- 上記の基準を満たさない装備品であっても、下記の基準を満たした装備品を整えなければならない。
  - ヘルメット: JIS 以上の規格に合致し、製造後 10 年以内で、耳の露出しないもの (2 輪用も可)
  - グローブ: 指が露出せず、滑り止め処置がされた、難燃性素材のもの
  - 服装: 難燃性素材で肌が露出しないもの (長袖、長ズボンも可)
  - 靴: ソールに滑り止め処置がされ、かかと部分までソールでカバーされているもの
- ヘルメット及び装備品へのウェアラブルカメラの装着は禁止する。

- ピットクルーの装備品

競技中、ピット作業エリア内に入るピットクルーは、ヘルメット、長袖、長ズボン、安全靴を整えることを強く推奨する。

### 8. 参加申込

- 参加申込は、マツダファン・サーキットトライアル (MFCT) 公式サイト (<https://circuittrial.mazda-fan.com/>) の WEB レースエントリーから行うこと。
- 参加料の支払いは、クレジットカードによるオンライン決済、銀行振込とする。銀行振込を選択した場合は、参加申込の意思を表明後 3 日以内 (ただし、参加受付期間中であること) に支払いを完了しなければならない。銀行振込は下記を指定口座とし、振込手数料は参加者負担とする。

金融機関名: みずほ銀行 店名: 渋谷支店 口座種目: 普通口座  
口座番号: 1323717 口座名義: カ) ピーススポーツ

※振込名義は参加ドライバー名と同一でなければならない。異なる場合には、B-Sports に対し事前にその旨を伝えなければならない。

- 参加申込が成立するは、規定の方法による参加申込の意思表明と、参加料の入金の両方を B-Sports が確認できた時点とする。オーガナイザーが先着申込順で参加受付台数に定員を設ける場合は、参加申込が成立した順とする。
- 参加申込の意を表明後、やむを得ずその意を取り消す場合には、表明後 3 日以内 (ただし、参加受付期間中であること) に B-Sports まで必ず連絡すること。連絡が無い場合には参加の意思に関わらず参加料金が請求され、支払いが確認できるまでは次戦以降の参加も受理されない。
- 受付期間  
各大会とも開催日の 40 日前より 20 日前まで、もしくは各大会オーガナイザーの指定する期間とする。
- 参加申込書に記入する車両名は 15 文字以内 (機種依存文字や記号は不可) とし、必ず車両名 (車両型式や略称は不可) を含むこと。使用が認められない文字や記号が含まれていたり、車両名が正しく含まれていない場合には、B-Sports の判断により車両名を変更するものとし、その変更に対する異議は受け付けられない。  
例: OOO ロードスター、OOOMA Z D A 3、OOORX-8、等
- 参加申込受付期間の終了後、オーガナイザーで書類審査の上、特に指定がない場合はドライバー宛に正式参加受理書を発送する。

### 9. 参加料

- 参加料  
NORMAL・TUNED クラス参加料: 25,300 円 (税込/1 エントリーにつき)  
クロズドクラス参加料: 23,100 円 (税込/1 エントリーにつき)  
①参加料には、ドライバー1名、競技車両1台のバスを含む。  
②FHR 割引として、頭部および頭部の保護装置 (FHR システム) を使用する場合には、参加料から 2,200 円を割引する。  
③新車割引として、開催日に初度登録年月 (初度検査年月) から 3 年 (36 ヶ月) 以内の車両で参加する場合には、参加料から 1,100 円を割引する。  
④旧車割引として、開催日に初度登録年月 (初度検査年月) から 13 年 (156 ヶ月) を超えるガソリン車両、11 年 (132 ヶ月) を超えるディーゼル車両で参加する場合には、参加料から 1,100 円を割引する。ただし、自動車税の経年車重課税対象外車両 (電気自動車、ハイブリット車など) は割引が適用されない。  
⑤割引制度は参加申込みと同時に自己申告するものとし、後日の請求は認められない。

# Sporting Regulation 2024



## 2024年度 マツダファン・サーキットトライアル 競技規定②

### 2) 登録料 (追加バス)

- ①ピットクルーは1エントリーにつき3名まで登録できるが、1名登録ごとに2,200円(税込)の登録料が別途必要。公式車検はドライバー本人または登録されたピットクルーが受けること。
- ②サービスマン(税込)の登録料が別途必要。サービスマンは指定された場所に駐車すること。
- ③登録料は参加料と同時に支払わなくてはならない。
- ④上記以外の同伴者や車両については、各大会で定められた入場料および駐車料が必要となる。

### 3) 保険料

- ①各大会特別規則に定められている場合はその規定に従うものとし、規定が無い場合は保険の加入は義務付けられない。ただし、各チームの責任において何らかの保険に加入することを強く推奨する。
- ②モビリティリゾートもてぎ開催大会については、もてぎ・鈴鹿(MS)共済会(MCoM)もしくはSMSC会員ではない方は、暫定加入としてドライバー:3,000円/1名、ピットクルー:500円/1名に当日加入しなければならない。
- ③オートポリス開催大会については、オートポリス会員ではない、もしくは今年度オートポリスを初めて走行されるドライバーは、オートポリスのスポーツ安全保険(2,000円/1名)に当日加入しなければならない。

- 4) クローズドクラス参加者でJAF競技運転者許可証国内Bの取得を希望する場合、以下の費用が追加が必要となる。JAF家族会員の場合は、競技会当日までに自身で個人会員への切替手続きを行うこと。

JAF個人会員の方...9,900円(税込/規則書代金を含む)  
JAF会員で無い方...17,600円(税込/規則書代金ならびにJAF会費を含む)

- 5) 競技が中止になる場合を除き、一旦支払った参加料ならびに登録料等は返還されない。ただし、競技が中止になったり、定員に漏れる等の理由で参加が受理されなかったり、本規定8.4)に規定された期間内に参加を取り消した場合に、返金事務手数料として総支払額の10%を差し引いた金額が返金される。

## 10. 参加申込内容の変更手続き

- 1) ドライバーの変更は認められない。また、その権利を他人に譲渡することも認められない。
- 2) やむを得ない事情による車両変更は、参加申込をした同クラスについてのみ許され、変更の期限は公式車検開始30分前までに指定様式に変更料(11,000円)を添えて競技会事務局に届け出、B-Sportsの承認を得なければならない。
- 3) 参加申込書の提出後、ピットクルーやサービスマンの追加は一切できない。ピットクルーの変更は、公式通知に記載された参加受付時間までに指定様式に変更料(1,100円/名)を添えて競技会事務局に届け出、B-Sportsの承認を得なければならない。
- 4) 改造申告書の訂正は、公式車検開始30分前までに修正が許される。
- 5) 上記以外の変更は基本的に認められないが、誤記訂正については指定様式に訂正料(11,000円/1件)を添えて競技会事務局に届け出、B-Sportsの承認を得なければならない。

## 11. タイヤ本数の制限

- 1) 1大会で使用できるタイヤは4本までとする。
- 2) パースト等のやむを得ない理由の場合のみ、競技長の判断により追加使用が許される。それによるペナルティは科されない。ただし、競技長の許可無くタイヤ交換作業を行った場合にはペナルティが科される。

## 12. 燃料

- 1) 競技車両が大会参加時に使用する燃料は、JAF国内競技車両規則第3編第1章第9条「燃料」に従い、通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている(潤滑油以外のいかなる添加物も含まない)自動車用無鉛燃料を使用すること。
- 2) やむを得ない理由で競技長が許可に認めた場合を除き、競技中の燃料補給は認められない。競技長が許可無く競技中に燃料補給を行った場合には、ペナルティが科される。
- 3) 第1ヒート終了後から第2ヒート開始前までの間に給油を行うことは認められる。給油はサーキット内のガソリンスタンドの利用を推奨するが、ガソリン携行缶(消防法令の基準に適合した容器)で作業を行う場合には、消火器などの消火準備を整え、安全に細心の注意を払うこと。
- 4) ガス欠症状を回避するため、十分な量のガソリンを給油して競技に参加することを強く推奨する。ガス欠症状が出た場合、走路内に車両が停止する危険が高いため、速やかに走路外に車両を移動しなければならない。競技役員の手指示があった場合や危険回避を除き、一時的でも走路内で停止した場合、失格とする。

## 13. 競技方法

- 1) 競技は原則として2ヒート行う。ただし、天候等の事情により第1ヒート終了の時点で競技を打ち切る場合がある。
- 2) スタートはピットエンドから競技役員の手指示によって1台ずつコースインしラップタイムを計測する。
- 3) コースインする順番は、1本目がゼッケンの若い番号順(申告タイムの早い順)とする。2本目は、1本目の走行結果順とする。ただし、走行開始時間を優先とし、整列に間に合わない車両は、この限りではない。
- 4) 1本目の走行前に1周回の慣熟走行(先導走行/追い越し禁止)を「パレードラン」とし、チームの責任者が指名した同乗者1名を助手席に乗せて走行することが認められる。同乗者は、競技用の装備品の着用は不要だが、シートベルトを適切に使用し、パレードランが終了してファストレーンに停車した際、速やかに降車してピットレーンから退去すること。
- 5) ピットインの場合は、手または方向指示器で後続車に合図をし、ピットレーン入り口から徐行しながら減速帯を進行し、十分に減速してから停車帯に入り自己のピット前で停車し、エンジンを一旦停止しなければならない。
- 6) 各自のピット作業エリアは、基本的にゼッケン順もしくは各オーガナイザーが定める位置とし、それに対する異議は認められない。
- 7) 当該ヒート終了合図(チェッカーフラッグ)後は、フィニッシュライン付近の止むを得ない場合を除き、追い越しを禁止する。チェッカーフラッグの提示を受けた全ての車両は、原則としてコースを1周した後、指定のピットまたはパドックに停車し、そのまま車両保管とする。ガス欠等により周回できなくなった場合には、競技役員の手指示に従うこと。
- 8) 万、チェッカーフラッグが不注意その他の理由により規定時間を完了する前に表示された場合でも、競技はその時点で終了したものとみなされる。

## 14. ピット規定

- 1) ピットインの場合は、手または方向指示器で後続車に合図をし、ピットレーン入り口から徐行しながら減速帯を進行し、十分に減速してから停車帯に入り自己のピット作業エリアで停車し、エンジンを一旦停止しなければならない。
- 2) 競技中はピットガレージ内での作業は禁止する。競技中にピットガレージ内やパドックに車両を進めた場合、走行をした終了したものと判定し、同一ヒートでの再出走は認められない。
- 3) ピットレーン通過速度は、各サーキット指定の制限速度に従うものとする。

- 4) 自己のピット作業エリアで作業できる人数は、ピットクルーもしくはドライバーとして登録された3名までとする。
- 5) 自己のピット前を通り過ぎてしまった場合は、競技役員の手許可を得た後、自己のピットクルーによって押し戻すことができる(ピット内でのリバーシギヤの使用は、厳重に禁止される)。
- 6) 競技中にピットレーンに進入した場合は、ドライブスルーペナルティやペナルティストップが科された場合を除き、必ず自己のピットに停車しなければならない。
- 7) ピット作業の場合を除いて、ピットクルーがピット作業エリアに立つことを禁止する。
- 8) 競技中は、電動工具、エア工具、火花を散らす装置や工具、高温を発生する装置や工具のピット内およびピットエリアでの使用を禁止する。
- 9) 競技中は、ピット作業エリアでのタイヤやラジエーター等の冷却のための水・氷の使用、燃料や油脂類の補給は禁止される。
- 10) コースへの復帰は競技役員の手指示または、ピット出口の信号灯火に従わなければならない。
- 11) 無線機の使用は一切禁止する。ただし、一般に市販される携帯電話同士による通信のみ認められる。
- 12) ピットおよびピット裏にて喫煙やゴミの不法投棄の事実が判明した場合、該当者が判明したかどうかに関わらず、そのピットを指定されたチームの責任者が管理責任を負うものとし、ペナルティが科される。

## 15. 競技の中断および再スタート

- 1) 事故等によりコースが閉鎖されたり、または天候その他の理由から競技継続が不可能となったために競技を中断する必要がある場合、競技長はコントロールラインにおいて赤旗を表示し、同時に全ての監視ポストでも赤旗が表示される。
- 2) 競技中断の合図と同時に、全車両はただちに停車できるスピードで競技役員の手指示に従って指定された場所へゆっくりと進まなければならない。
- 3) 競技中断の合図が出される直前に、スタート時刻からの経過時間が当該ヒート時間の30%に満たない場合、競技長は競技会審査委員会と協議のうえ競技を再開することができる。また、30%を満たした場合、当該ヒートは終了したものとみなされる。
- 4) 再スタートの方法は、当規定13.「競技方法」に従う。また、中断の合図が出された時点で当該ヒートの残り時間を競技時間とする。

## 16. 旗信号の意味

- 1) 競技会で使用する信号合図は、国際モータースポーツ競技規則付則H項および補助信号機によって行う。

旗の種類	指示内容
赤旗	競技の中止。ドライバーは直ちに速度を落とし、必要に応じ停車できる態勢をとり、ピットレーンに進行すること。追い越し禁止。
黄旗 (1本の振動)	速度を落とし、追い越しをしないこと。進路変更する準備をせよ。トラックわき、あるいはトラックの一部に危険箇所がある。ドライバーがスピードを落とし、それが明らかでなければならない。これは、ドライバーが手前で制動したことおよび、またはそのセクターで速度を著しく落としたことを意味する。
黄旗 (2本の振動)	速度を大幅に落とし、追い越しをしないこと。進路変更する、あるいは停止する準備をせよ。トラックが全面的または部分的に塞がれているような危険箇所がある、および/あるいはマシナリがトラック上あるいは脇で作業中である。ドライバーが有意義なラップタイムを達成しようとしていないことが明らかでなければならない。これは、ドライバーが当該ラップを放棄するべきであることの意味する(次のラップで走路が十分に片付いている場合があるため、ピットへ入らなければならないことを意味するものではない)。
緑旗	トラックが走行可能(コースクリア)。黄旗区間解除。
赤の縦縞のある黄旗	路面が滑りやすい。
白旗	トラック区間に低速走行車両がある。
青旗	他の競技車両が追い越しを行おうとしている。
黒旗	指示を受けた場合は、次の周回時にピットの指定された場所に停車すること。
オレンジ色の円形の黒旗	車両に機械的欠陥が生じている。指示を受けたドライバーは、次の周回時に自己のピットに停車すること。
黒と白に斜めに2分された旗	スポーツ精神に反する行為をしたドライバーに対する警告。トラックリミット違反の警告。
チェッカー旗	競技終了。

- 2) 信号合図に従わない場合は罰則が適用され、この判定に対する抗議は受け付けられない。

## 17. 順位決定

- 1) 第1ヒートまたは第2ヒートの最高ラップタイムのうち速い方を採用し、順位を決定する。
- 2) 2名以上のドライバーが同一の最高ラップタイムを記録した場合には、最初にそのタイムを出した車両が優先され、以下この方法に準じて順位が決定される。

## 18. 車両保管

- 1) 競技車両は、第1ヒートまたは第2ヒート終了後に当該大会競技役員により車両保管される場合がある。その際には、参加者は車両保管解除後に車両整備が認められる。大会技術委員長から特別に許可を得た場合や、ソフトトップやボンネットのやむを得ない開閉作業を除き、車両保管中は車両には一切手を触れてはならない。
- 2) 競技車両は、公式車検を受けた後からは第2ヒート終了後の正式結果発表まで、当該サーキットの場外へ持ち出すことはできない。
- 3) 大会期間中にリタイアした場合、車両を当該サーキットの場外へ持ち出せるのは、リタイア届けの受理後とする。届け出が無く、車両を正式結果発表前に当該サーキットの場外へ持ち出した場合にはペナルティを科される。

# Sporting Regulation 2024



## 2024年度 マツダファン・サーキットトライアル 競技規定③

### 1 9. 車両整備

大会期間中に認められる車両に関する作業は一般公道用途における車両の日常点検整備(脱着を伴う作業を含む)に順ずる以下の内容のみとする。ただし大会技術委員長の許可がある場合はこの限りではない。

- ① エンジンオイル、トランスミッションオイル、デフォイルの点検補充、交換
- ② ブレーキフルード/クラッチフルードの点検補充、交換、エア抜き作業
- ③ 冷却水、クーラントの点検補充
- ④ バッテリーの点検、充電、液の補充
- ⑤ エアフィルターの点検、清掃
- ⑥ タイヤの点検、エア圧点検、調整
- ⑦ ホイールの点検、取り付けの確認。
- ⑧ ウォッシャー液量点検、ウォッシャー液の補充
- ⑨ 燃料給油
- ⑩ 競技ゼッケン、各種ステッカーの貼付
- ⑪ 部品の取り外しを伴わないアライメント調整、車高調整
- ⑫ 本規定で許されたアクセサリー等の自動車部品の脱着
- ⑬ 本規定で許された安全装置の停止復旧作業
- ⑭ 上記項目以外で車両より部品の取外しを伴わない各部の清掃

### 2 0. 罰則

1) 本規則、各大会特別規則および公式通知で定められた規則に対する違反の罰則は、競技会審査委員会が決定し違反者に通告される。

2) B-Sports ペナルティ

大会期間中以外でもB-Sports 独自の調査・検査により違反行為があったと判断した場合、前項 20.1) の罰則の他に以下のペナルティを科す場合がある。このペナルティは B-Sports により通告、公示され、20.1) の罰則に追加される場合と B-Sports 独自に執行される場合がある。なお、B-Sports ペナルティにより、各大会で既に決定された競技結果が影響を及ぼされることはない。

- ① 違反者に属するシリーズポイントの減算、失効。違反内容によっては、当該大会以前に獲得したシリーズポイント、ならびに違反車両によって当該大会以前に獲得された他の参加者のシリーズポイントに対してもペナルティを科す場合がある。
- ② 違反者およびその関係者に対する、訓戒ならびに以後大会の出場停止。

### 2 1. 抗議

JAF 国内競技規則第12条に従って行うことができる。ただし審判員の判定、B-Sports の判定に対する抗議は受け付けられない。

### 2 2. 賞典

1) 大会賞典

- ① 各大会のクラス別賞典は下記の通りとする。  
1~3位：トロフィー、JAF メダル、MFCT ウィナーズキャップ  
4~6位：トロフィー、MFCT ウィナーズキャップ  
※上記の1位がブリヂストンタイヤ装着車両の場合には BRIDGESTONE キャップも授与する。
- ② 各大会賞典は、各クラスの出走台数により、賞の制限を行う。入賞は6位を超えない出走台数の50% (端数切捨て)とし、1台の場合には大会賞典は用意されない。とする。
- ③ クローズドクラスは賞典外のため、大会賞典は用意されない。

2) ジャパンツアーシリーズ賞

① 各大会において、各ドライバーには、クラス別の順位に応じて、下記の表に基づいて順位得点が与えられる。ただし、台数により、順位得点の制限を行う。3台に満たないクラスは50%、8台に満たないクラスは70%に減算する。また、順位認定の対象外や、クローズドクラスのドライバーには得点は与えられない。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位以下
100P	90P	80P	70P	60P	50P	40P	30P	20P	10P

② いかなる理由があろうとも、異なる名称のドライバーの得点は合算できない。同一名称であっても、同一人物でなければ得点は合算できない。同一名称・同一人物であれば、車体型式や車体番号が異なる車両、参加クラスの変更があった場合でも、同一ドライバーとしてポイントを集計する。

③ 各大会において、ドライブスルー・タイム加算・降格以上の罰則を科された場合には、1回の罰則につき5点を減算する。ただし、減算は当該大会の得点が0点になるまでを限度とする。

④ 各大会において失格となった場合には、年間で獲得した合計得点から1回につき50点を減算する。

⑤ 全大会でポイントを獲得したドライバーには、最終戦から順に遡り、獲得ポイントが最も高い大会に25点が特別得点として加算される。また、全大会でポイントを獲得できず、開催数の8割以上(小数点以下四捨五入)の大会でポイントを獲得したドライバーには、最終戦から順に遡り、獲得ポイントが最も高い大会に10点が特別得点として加算される。

⑥ 得点集計および順位

・ 出場して得た得点のうちから、高得点順に成立した大会の合計数の70% (小数点以下四捨五入) を合計する。(6戦が成立した場合は、高得点の4戦が有効となる) ただし、開催された大会の合計数が5回に満たない場合、開催された大会のすべてが得点の対象となる。

・ 複数のドライバーが同一ポイントとなった場合、最終戦から順に遡り、獲得ポイントの高い順に上位者を決定する。それでも決められなかった場合は同順位とする。

⑦ ジャパンツアーシリーズの賞典は下記の通りとする。

- 1位：MAZDA SPIRIT RACING CUP、記念写真パネル
- 2~6位：MAZDA SPIRIT RACING 賞、記念写真パネル

⑧ シリーズ賞典は、年間の平均出走台数により、賞の制限を行う。入賞は6位を超えない出走台数の50% (端数切捨て) とする。シリーズ賞典の対象は、2戦以上でポイントを獲得したドライバーに限る。

3) 特別賞

① BRIDGESTONE 賞

ジャパンツアーシリーズにおいて、ブリヂストンタイヤ装着車両で参加するドライバーを対象に、全ての NORMAL 系クラスのポイントの最上位にブリヂストン社製「POTENZA Adrenalin RE004」1set、全ての TUNED 系クラスの最上位にブリヂストン社製「POTENZA RE-71RS」1set を副賞として授与する。

② グレート・ドライバー・オブ・ザ・イヤー

ジャパンツアーシリーズにおいて、本年度シリーズ終了時点までに Great MAZDA Circuit Trialist 賞を受賞したドライバーの最上位に賞典を授与する。ただし、ジャパンツアーシリーズ賞の入賞者は除外する。

③ ルーキー・オブ・ザ・イヤー

ジャパンツアーシリーズにおいて、(クローズドクラスでの参加実績は除く) 本年度から初めて MFCT に参加するドライバーの最上位に賞典を授与する。

④ ウーマン・オブ・ザ・イヤー

ジャパンツアーシリーズにおいて、女性ドライバー (性別確認は自己申告とする) の最上位に賞典を授与する。

⑤ 特別賞の対象は、2戦以上でポイントを獲得したドライバーに限る。複数のドライバーが同一ポイントとなった場合、最終戦から順に遡り、獲得ポイントの高い順に上位者を決定する。それでも決められなかった場合には、その全員に賞典を授与する。

⑥ 特別賞の賞典は、記念盾と記念写真パネルとする。(シリーズ賞典も受賞した場合、記念写真パネルはシリーズ賞典用のみ)

4) レコード賞

各クラスのコースレコードタイムを更新したドライバーには、レコード賞として記念盾を授与する。新規に記録された場合は該当しない。

5) Great MAZDA Circuit Trialist 賞

過去マツダファン・サーキットトライアル (MFCT) およびマツダスピードカップ・サーキットトライアル (MSCT) に通算10年シーズン以上および公式戦30戦以上出走したドライバーに、今シーズンのいずれかの大会に出場した際、その功績を称える賞典として記念盾を授与する。

⑥ 上記賞典の授与が行われる暫定表彰式、正式表彰式、シリーズ表彰式には、ドライバー本人または代理人の出席が義務付けられる。暫定ならびに正式表彰式には入賞ドライバーはレーシングスーツ着用を推奨する。また、式典に出席しない場合には賞典の授与を拒否したとみなすが、各大会の正式競技結果や各賞典対象者の変更はない。

### 2 3. 本規定に記載されていない事項

本規定に記載されていない事項については、各大会の特別規則書および公式通知により公示される。なお、本規定の変更や解釈は B-Sports プルテンとして B-Sports より公示される。

※前年度のレギュレーションからの変更点は下線 (直線)、変更点に関わらず特に注意すべき点は波線で示す。